

会議録様式

附 屬 機 関 等 の 名 称	杉戸町上水道事業経営審議会
会 議 名	第 1 回杉戸町上水道事業経営審議会
開 催 日 時	令和 7 年 10 月 7 日 (火) 13:30 開会
開 催 場 所	杉戸町役場 本庁舎 1 階会議室
議 題	(1) 委員委嘱 (2) 会長、副会長の選出 (3) 諮問 (4) 諮問事項説明、杉戸町水道事業の経営状況について (5) 質疑応答
公開・非公開の別	公開 • 一部公開 • 非公開 (公開の場合 傍聴者 1 人) (非公開の場合理由)
出席 委 員 氏 名	佐々木康裕委員、石井秀典委員、三田好子委員、折原奈緒美委員、 螺良多加子委員、森田弘委員、山中珠恵委員、長谷川翔太委員、 吉田みゆき委員
審 議 の 概 要	<p>(1) 委員委嘱</p> <p>(2) 会長、副会長の選出 会長に長谷川翔太委員、副会長に吉田みゆき委員を選出。</p> <p>(3) 諮問</p> <p>(4) 諮問事項説明及び杉戸町水道事業の経営状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給水人口 43,364 人、町内全域が対象、一部の井戸水利用者以外は利用している。 ・20 m³あたりの水道料金は近隣市町 (広域化の枠組: 春日部市、久喜市、蓮田市、白岡市、幸手市、宮代町、杉戸町の 5 市 2 町) の中で 4 番目に位置している。 ・料金収入は、令和 3 年度以降減少傾向である。 ・令和 2 年度の料金収入は新型コロナウィルス感染症の影響による巣ごもり需要の影響で、一時的に増加している。 ・令和 3 年度以外の過去 5 年間は新型コロナウィルス対策や物価高騰対策による減免を実施している (本来は減免分も料金収入となった)。 ・令和 6 年度の収益的収支はマイナスとなり、今後も悪化する可能性がある。 <p>経営比較分析表による現状分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経常収支比率は、類似団体平均より低い数値で推移し、令和 6 年度で 100 % を割っている。 ・流動比率は、令和 3 年度以降で現金が減少し、類似団体平均より低い状況となっている。 ・企業債残高対事給水収益比率は、類似団体平均より低いが、今後は企業債借入の検討が必要となっている。

・料金回収率は、類似団体平均より低く、また、物価高騰などにより今後も経費の増加が見込まれることから、料金改定の検討が必要となっている。

・営業収益対資金残高比率は、類似団体平均や県内団体、近隣団体よりも低い数値のため、収益性や資金残高が低いことから、改善が必要となっている。

（5）質疑応答

山中委員 収益が少ないので給水人口が少ないからか。改定する場合、料金をどのくらいあげればよいか。

事務局 令和2年度、4年度、5年度、6年度は、新型コロナウィルス対策や物価高騰対策として、基本料金の減免がありました。また、委員ご指摘のとおり、給水人口の減少等の理由より、減免が無くとも料金収入は減っています。

いくら料金を上げればよいかは、次回説明します。

石井委員 過去に値上げの動きはあったのか

事務局 令和4年度に料金改定を検討しましたが、コロナ減免等を実施している最中でしたので中止しました。前回の料金改定は平成9年であったことから、約30年経っています。

森田委員 有形固定資産減価償却比率は、管路以外の数値も含まれているのか

事務局 含まれています。

佐々木委員 老朽化した設備の改修は、建設改良費に含まれているのか。

事務局 含まれています。

また、工事費は過去と比べて上がっています。将来、配水場等の施設更新も入るため計画を立てて実施していきます。

佐々木委員 水道は使った方が良いのか。

事務局 収入が増えるので水道を使って欲しいところですが、近年の異常気象、環境保全や水資源の保全を考慮すると、必要最低限は使って欲しいと考えます。

長谷川会長 令和8年度の県水改定率はどのくらいか。

事務局 県水単価は約21%の改定となります。

長谷川会長 耐震化は進んでいるのか

事務局 配水場の耐震化は100%です。管路の耐震化は、手元に資料がないので次回説明します。

山中委員 一般家庭と企業で料金体系を変えることはできないのか。

事務局 昔は用途別でしたが、現在は公平性から口径別・水量別が主流となっています。

杉戸町附属機関等の会議の公開要領第7の規定により署名する。

令和 7 年 11 月 12 日

署名委員

石井秀典

署名委員

木田弓弓